

動物モデル探索中					
#	癌腫	動物種	モデル名	内容	主な用途
1	不問	不問	自然発がんモデル		がんの匂い物質の特定
2	胃がん	マウス	腹膜播種モデル	・肉眼的播種結節モデル ・腹腔洗浄細胞診陽性モデル	
3	a)胆管乳頭状腫瘍 b)舌・食道がん		a)Fgfr2 flox,など b)CK17-CreERな	a)胆管乳頭状腫瘍発生と由来の解析	

動物モデル提供可能

1	大腸がん	マウス	マウス大腸がん腹膜播種モデル	・ルシフェラーゼ発現大腸がん株化細胞細胞 ・播種巣数を犠牲死なく定量	・in vivo 正確な薬効評価 ・腹膜播種に対するiv とipどちらのルートが適切か判定可能。
2	大腸がん		外科切除症例からのオルガノイド	・大腸がん症例の非腫瘍部粘膜 ・腫瘍部からのオルガノイド樹立(12例成功)	化学療法感受性抵抗性を検討し、特定の遺伝子異常との相関検討
3	大腸がん	マウス(BALB/cヌード)	領域リンパ節転移を有する粘膜下層浸潤直腸がんモデル	・マウス直腸にGFP導入大腸がん細胞株を局注移植した同所性直腸がんモデル。 ・移植後1週間、約80%の確率で領域リンパ節転移	・大腸がんリンパ節転移治療実験 ・早期大腸がん治療モデル。 ・顕微鏡下でライブイメージングやリアルタイム治療効果
4	食道胃接合部がん	マウス(BALB/cヌード)	道胃接合部がんの同所性マウスモデル	・マウス食道癌または食道胃接合部がんの同所性マウスモデル ・粘膜下から筋層、漿膜下に腫瘍が形成され胃小彎リンパ節転移 ・IVISを用いたin vivoイメージも	・食道癌あるいは食道胃接合部がんに対する治療実験
5	胃がん	C57BL6マウス	C57BL/6マウスへの肺転移、リンパ節転移、不腔内転移モデル	p53KOマウスにMNUを投与して作製した胃がんから樹立した株化細胞 ・C57BL/6マウスに皮下移植可能。肺転移、リンパ節転移。 ・C57BL/6マウス腹腔内投与にて腹膜播種形成	・播種、転移形成の抑制薬の検討の実験 ・担癌状態の全身的免疫能などの検索も可能